# モバイル：設定タブおよびその使用方法について

## 概要

Mobile Consoleの設定タブには、次のような重要なWalkMe Mobile管理コントロールが一部含まれています：

- SDK関連のアプリパフォーマンスの問題が発生した際のWalkMe Mobile SDKキルスイッチ
- エンドユーザーのデバイスのSDKとアプリバージョンの包括的な内訳
- スタティックトリガーがあるCampaignsのキャッピングを指定する機能
- Power Modeを有効化、無効化、カスタマイズする機能
- WalkMe Mobileセグメント、ゴール、ユーザー属性、キャプチャされた画面、要素のすべてのリポジトリ

## ユースケース

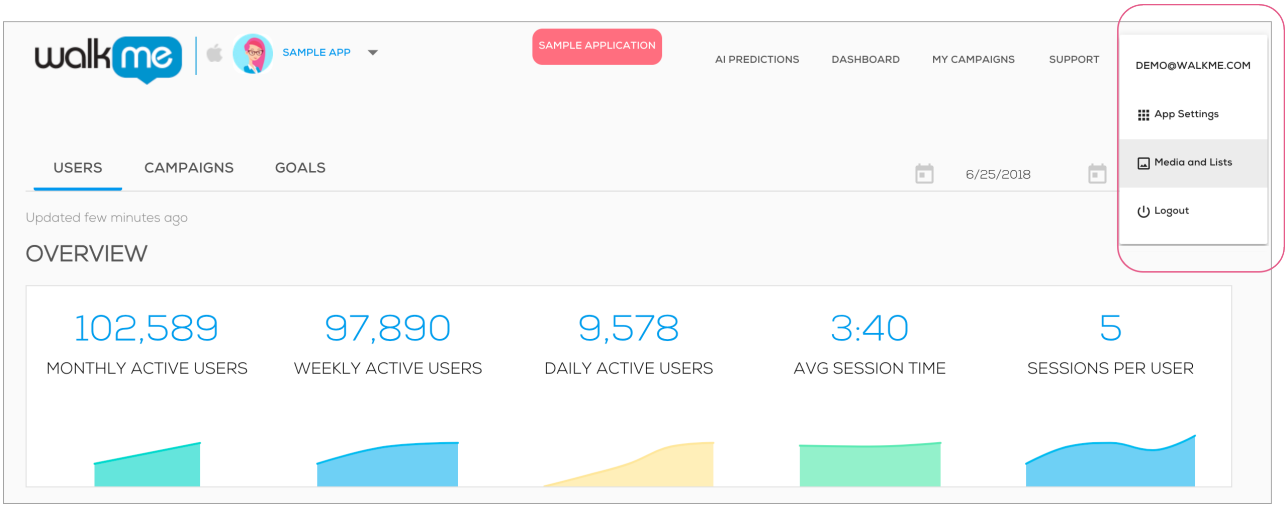
**設定タブのユースケースには次が含まれます：**

- WalkMe Mobileを設定
- *SDKバージョンの配布*セクションを参照して、エンドユーザーのアプリとSDKバージョンの機能ごとにWalkMeコンテンツを効果的にセグメントします。
- さまざまなセグメントとセグメンテーション変数（ゴール、ユーザー属性、キャプチャされた画面と要素）のすべての概観図を取得します。

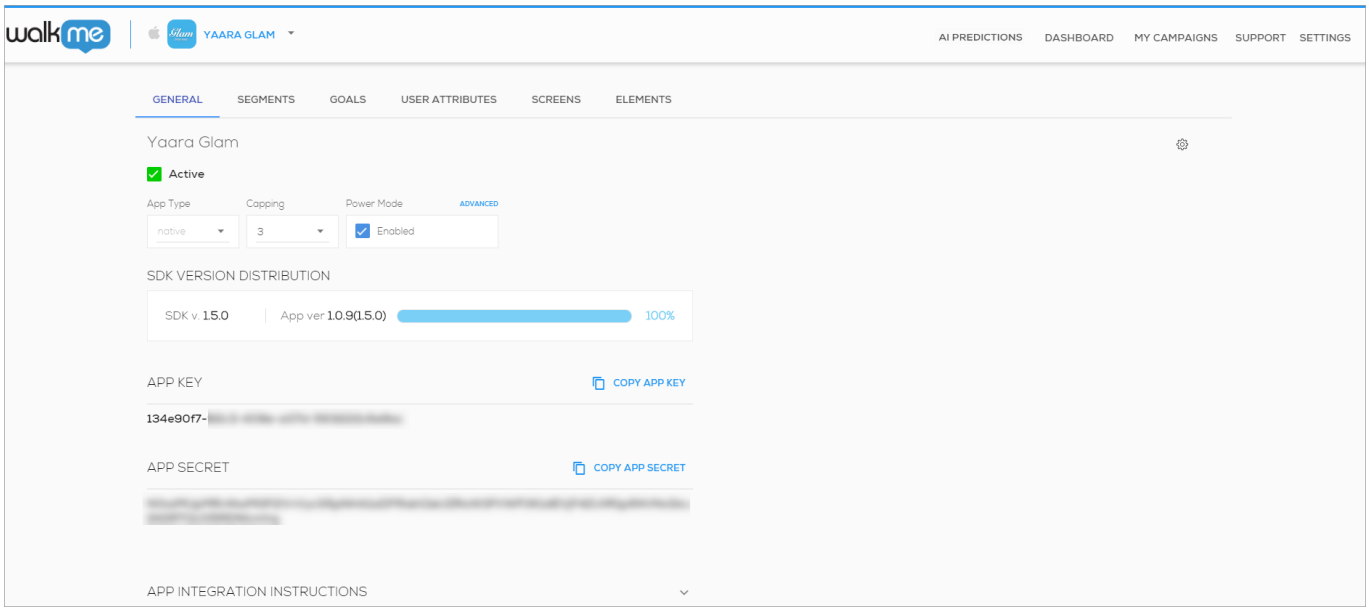
## 設定タブオプション

設定タブをクリックすると、ドロップダウンメニューから次のオプションが表示されます：

- アプリの設定
- メディアとリスト
- ログアウト

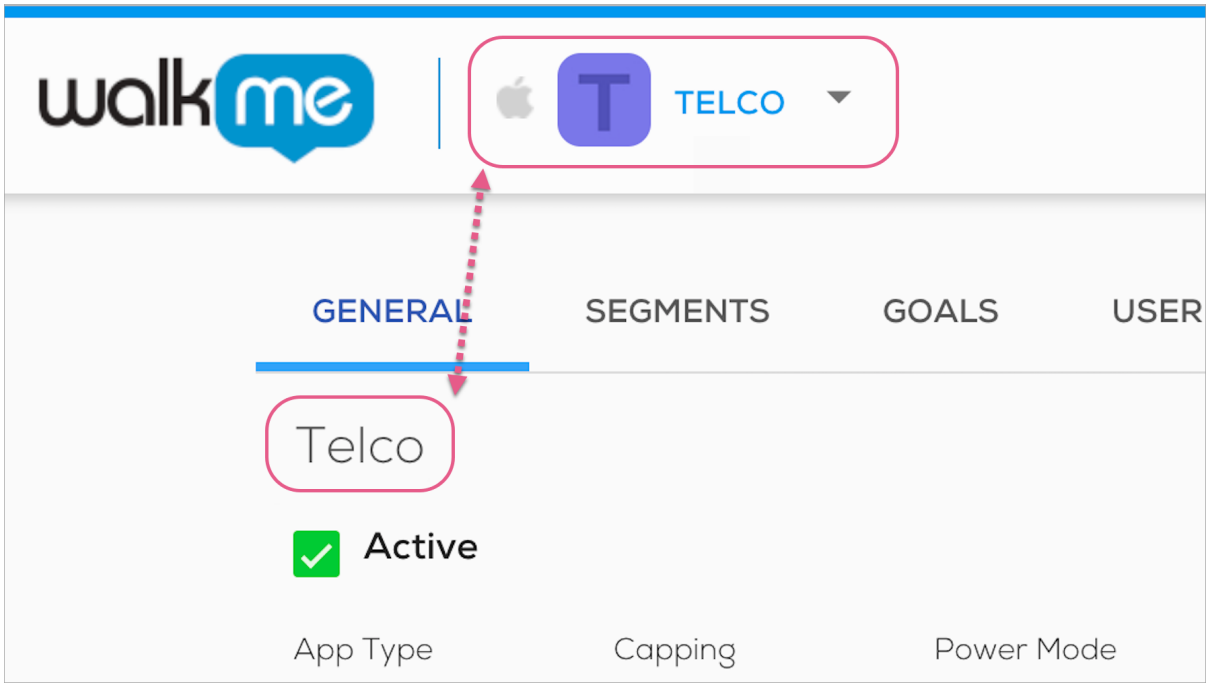



## アプリの設定



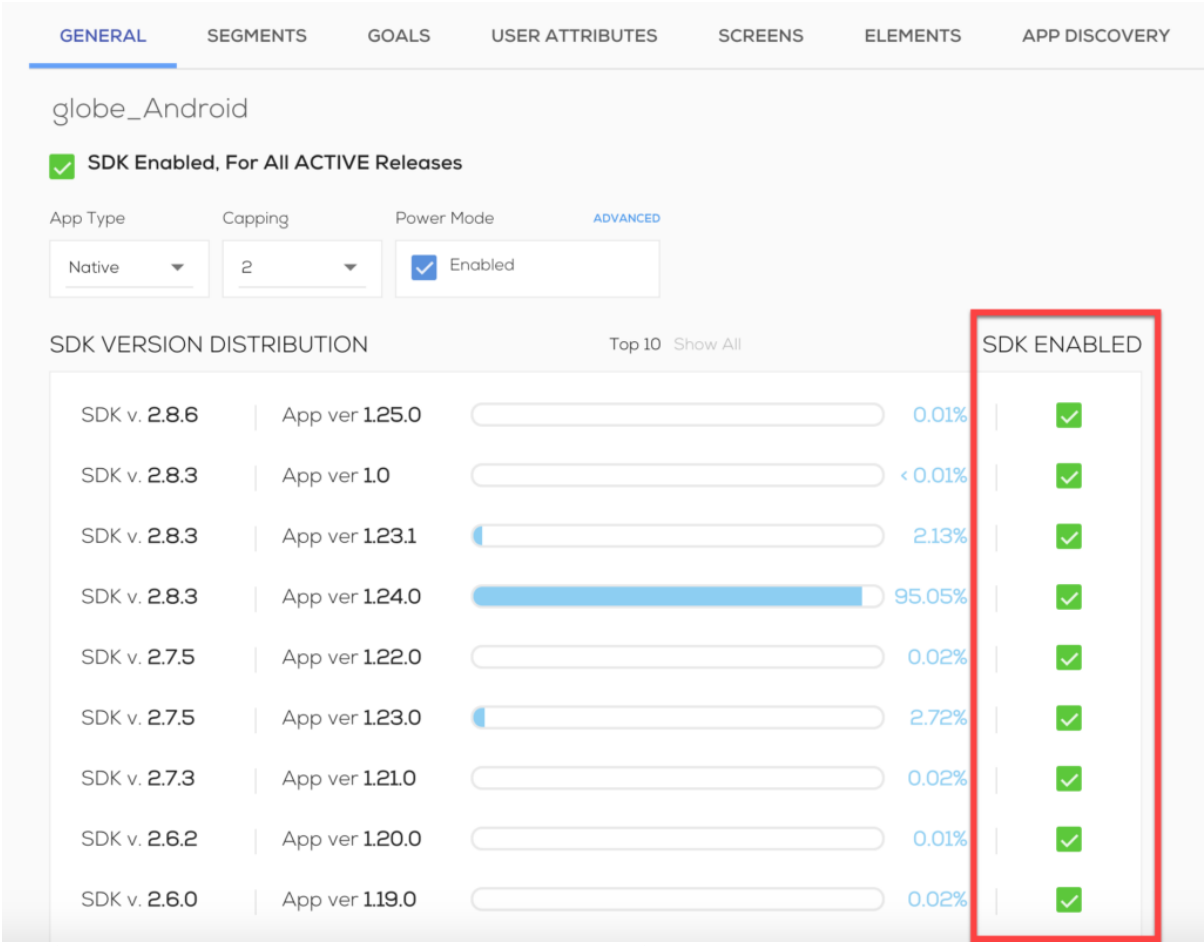

**アプリの設定セクションには多数のタブが含まれています：**

- **一般タブ**：このタブには、次のようなアプリ自体の一般的な構成が保持されています：
  - アプリ名：アプリを特定するセマンティック名。アプリの選択ドロップダウンに表示されます：

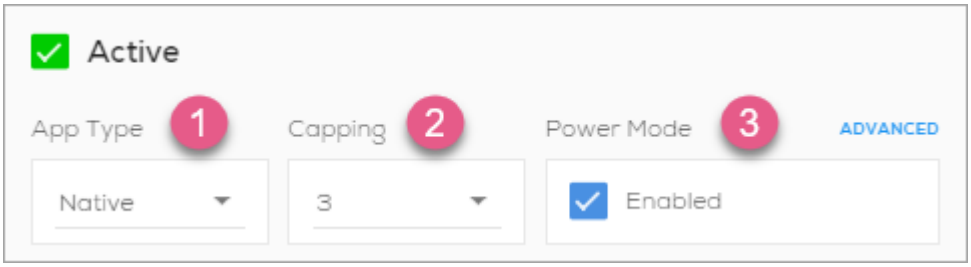



- この名前はSDKまたはWalkMeコンテンツには影響がなく、それにカーソルを合わせて*編集*アイコンをクリックして変更できます。

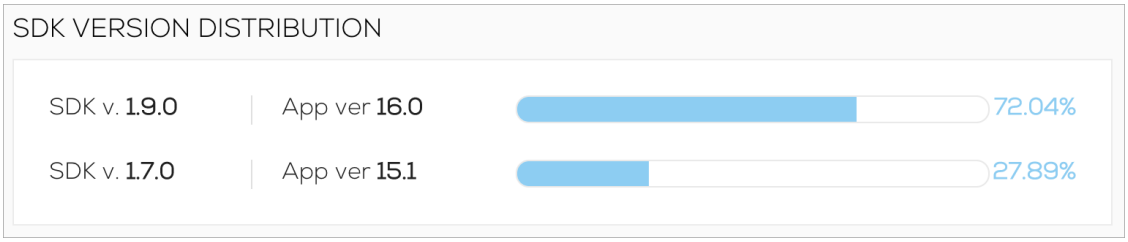
◦ SDKキルスイッチ（アクティブのラベルが付いた緑のチェックボックス）
◦ SDKの有効化チェックボックス：特定のSDKバージョンをオン/オフにする機能をチェックまたはチェックを外します。




- **アプリのデバッグモードアクティベーションオプション（*歯車アイコン>デバッグモード*をクリック）：これにより、次のアプリセッションが同じIPから接続し、SDKのログを表示します。**
- **アプリの管理設定オプション：**
  1. **アプリのタイプ（ネイティブ/ハイブリッド）**
  2. **1つのセッションでスタティックトリガーによって有効化されるCampaigns数をキャッピング**
  3. 有効化のためのPower Mode構成：




- 一般タブには次の情報も表示されます：
  - SDKバージョン配布情報：




  - App KeyとApp Secret
  - 手動統合のためのアプリ統合手順
- **アプリ変数タブ：これらのタブでは、**既存のアプリ変数を確認および削除し、該当する場合、新しいアプリを作成できます。 利用可能なアプリ変数：
  - **セグメント**
  - **ゴール**
  - **ユーザー**属性
  - 画面
  - 要素

## メディアとリスト

**ここでは、メディアアセット（**Campaignsで使用する画像）とターゲティングから対象または除外したいユーザーのエンドユーザ**（**IDを含むTXT/CSVファイルをアップロード、表示、削除できます。